

学校教育目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」



ま い た

令和4年度

2月号

令和5年1月30日

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/maita/>

蒔田小学校のシンボル

副校長 服部 可奈

年が明けてから、早いもので1ヶ月が経ちました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とはよく言ったものです。そうこうしているうちに、6年生が蒔田小学校で過ごすのも残り30日ほどとなりました。

さて、この6年生が歌った校歌が、先日ラジオ番組で放送されました。本校の卒業生であるリスナーからリクエストがあったということで、ラジオ局から依頼があり、6年生に協力してもらったのです。メール配信でもお知らせしたので、お聴きになった保護者の方もいらっしゃると思います。私も放送を聴いたのですが、番組に寄せられた卒業生からの声で最も印象的だったのが、円形校舎にまつわる思い出です。円形校舎で低学年の頃に学んだこと、真ん中のホールで遊んだこと、卒業して大人になってからも心に残っていることがわかりました。

たまたま、ラジオ局からの依頼と同じ時期に、他県のケーブルテレビからも円形校舎についての取材がありました。番組の中では、現存する数少ない円形校舎の一つとして蒔田小学校が紹介されたようです。資料によると、円形校舎は昭和35年頃には全国に100以上あったそうですが、少子化や老朽化によりその多くが解体され、今では全国に20ほどしか残っていないそうです。実際、蒔田小学校も老朽化がかなり進んでおり、修繕などさまざまな面で苦勞があります。しかし、円形校舎の希少価値や卒業生の思いを知ると、改めて「大切にしていかなければ！」という思いにさせられます。

蒔田小学校といえば円形校舎—— 在校生、卒業生だけでなく、地域みなさんにも長く愛されてきた学校のシンボルです。きっと、今の6年生の心にもいつまでも残ることでしょう。6年生には卒業までの一日一日を大切にするとともに、伝統ある校舎で過ごした日々を誇りをもって、中学校へ羽ばたいていってほしいと思っています。



4月には円形校舎に新1年生を迎えます。2月4日は立春。春の足音が少しずつ近づいてきています。